

科目名	キーボード・ソルフェージュ I			担当	今井 香織・堀井 園実 篠澤 友子・伊藤 あや		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年前期	実務経験	高等学校音楽教諭、幼児音楽教室講師経験有
必修	卒業：必修			ナンバリング	Y3601	DPとの関連	3
授業概要	鍵盤楽器を用いながら音楽理論の基礎を学ぶ。また、歌唱やリズム練習を鍵盤楽器の基礎奏法の練習と並行して行う。						
到達目標 学習成果	1. 音楽の基礎的知識と鍵盤楽器の基礎的奏法を習得する 2. 保育現場の音楽指導において、鍵盤楽器を有効的に活用するための基礎的知識を習得する						
授業計画	回	内容					
	1	音名と音高、音名順列 鍵盤との対応関係	日・伊・英 各国語の音名と、その順列、五線のしくみや音部記号の意味を、歌唱や試奏を通して理解する（ペアワーク）				
	2	五線のしくみと音部記号 指番号と手のポジション	ポジション移動を伴わない片手5指による音列奏練習を行う				
	3	音価・拍子・リズム記譜 ①	・音価比率と音符や休符の種類、および、「拍」や「拍子」について学ぶ ・実際の楽譜を観察しながら視唱、試奏、リズム練習、記譜練習を行う（グループワーク）				
	4	音価・拍子・リズム記譜 ②					
	5	総合演習 ①	1～4回の復習として、様々なサンプルを試奏する				
	6	音程・変化記号・調性	「音程」の概念を理解し、変化記号を含む譜例を試奏する。また、「調」の概念を学び、移調奏を試みる				
	7	ポジション移動と指返し 重音奏・和音奏	片手5指の範囲を超える音列、および、重音・和音の奏法を学ぶ				
	8	両手奏と片手複声奏	両手奏と片手複声奏のサンプルを試奏する。「声部」の概念について学ぶ				
	9	総合演習 ②	6～8回の復習として、様々なサンプルを試奏する				
	10	和音とコードネーム	和音の概念と種類、コードネームについて学ぶ				
	11	コード奏の基礎	音符として書かれたコードの試奏を行う。また、コードネームにもとづく合理的なコード連結の基礎を学ぶ				
	12	コード奏を伴う弾き歌い	最も基本的な「弾き歌い」形態として、コード奏を伴う歌唱練習を行う				
	13	様々な記号・楽譜上の指示	楽譜に用いられる様々な記号や、奏法指示について学ぶ				
	14	総合演習 ③ 試験ガイダンス	10～13回の復習として、様々なサンプルを試奏する。期末試験の課題発表およびガイダンスを行う				
15	次のステップにむけて	本授業の学習事項および自身の習熟度を再確認する					
評価基準	1. 音楽の基礎的知識と鍵盤楽器の基礎的奏法を身につけることができたか 2. 保育現場の音楽指導において、鍵盤楽器を有効的に活用するための基礎的知識を習得することができたか						
評価方法	期末試験 40% その他 60%（総合演習 ①～③における習熟度 30% 各回の課題への予習状況 30%）						
フィードバック 方法	試演後は授業内で講評する						
アクティブ ラーニング	グループワーク、ペアワーク						
教科書	・『簡易伴奏による こどもの歌ベストテン 改訂新版』ドレミ楽譜出版社 ・開講時に共通課題を配布。A4サイズ30穴のリングファイルを各自用意のこと						
参考書	担当講師の裁量により副教材を指示することがある						
履修条件	音楽の基礎的知識と鍵盤楽器の基礎的奏法の習得のため、積極的に取り組むことを望む						
授業外学習	毎時間の予習・復習のため、授業外の練習が必須						
オフィスアワー	掲示等で確認のこと						